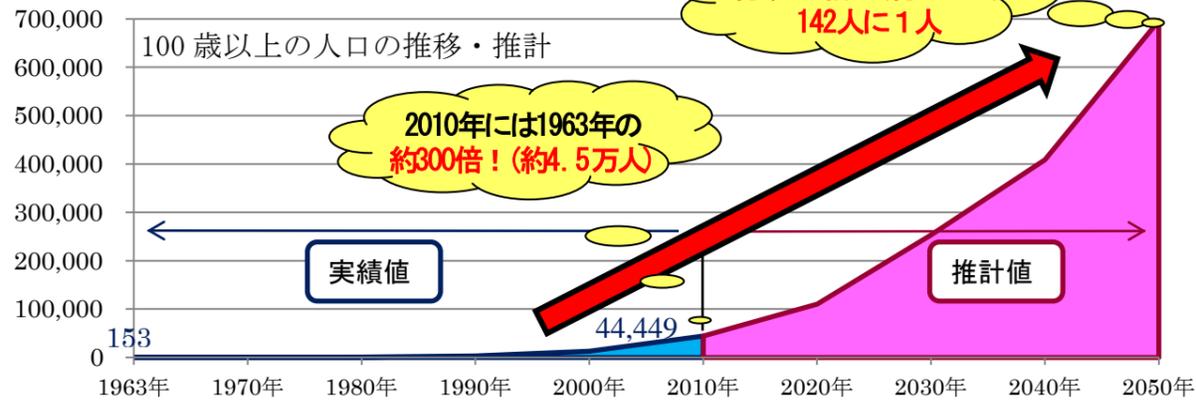


高齢者の雇用支援策の拡充について（案）

～人生 100 歳時代の到来に向けて～

提案の背景

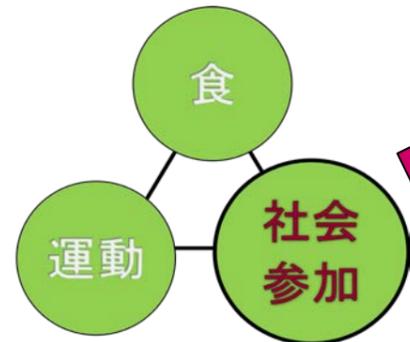
【人生 100 歳時代の到来】



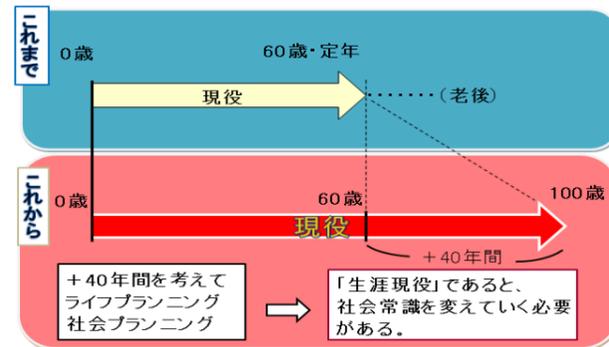
出典：住民基本台帳による都道府県からの報告 国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来人口推計」

【人生 100 歳時代の設計図】

未病を改善する取組



社会の基本コンセプトを変える



未病を改善する取組のその先に…

「人生100歳時代」を前提に考えると、

- ①人生100歳時代を見据えた世代別ライフプランニングのあり方
- ②健康長寿社会における定年退職後の社会参加のあり方

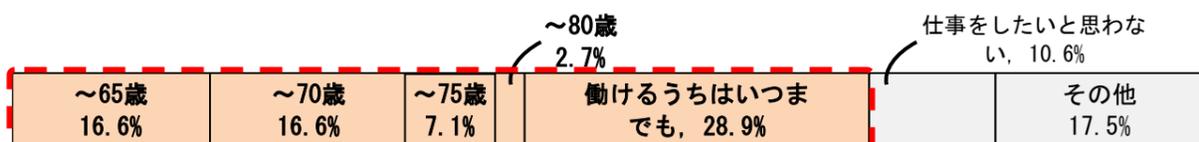
新しい生活・社会モデルが必要

人生100歳時代の設計図

「人生100歳時代の設計図」を考えるキックオフシンポジウム



【7割以上の高齢者（71.9%）が65歳以上までの就労を希望】

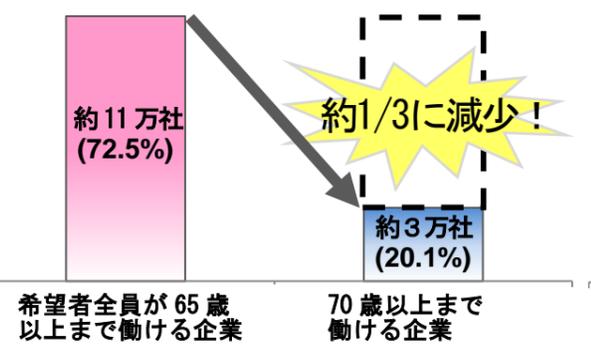


※出典：内閣府「高齢者の日常生活に関する意識調査」（平成26年）、対象は全国60歳以上の男女

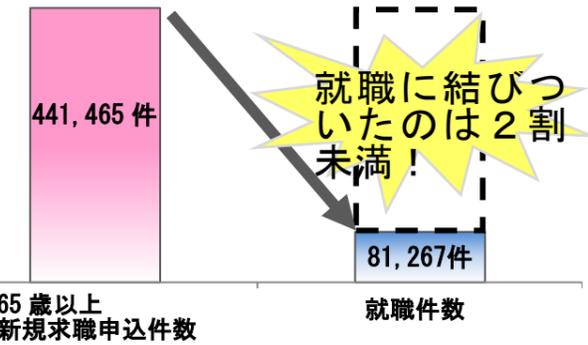
働く意欲と能力のある高齢者が、年齢に関係なく生涯現役で活躍し続けられるような雇用・就業環境を整えていくことが必要不可欠！

企業における高齢者雇用の状況

継続雇用の状況（厚労省調べ、H27.6.1時点）



新規雇用の状況（厚労省調べ、H27年計）

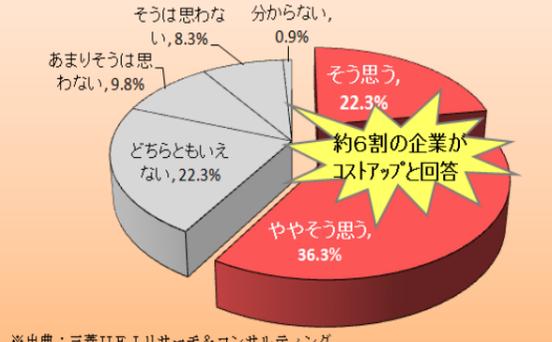


働く意欲のある高齢者が活躍できる環境になっていない

継続雇用

新規雇用

希望者全員を65歳まで継続雇用することは「コストアップ」と考えるか (n=338)



有効求人倍率が高い分野

介護、保育、運輸等

高齢者に合わせた補助業務の切出しや短時間勤務等、柔軟な働き方が可能となる制度が必要。

求人企業側の取組が不十分

人件費や制度導入等の負担が大きい

働き方改革の一環として、企業の自発的な動きが広がるよう、企業に対する雇用支援策の拡充が必要！

提案内容

【提案①】65歳超雇用推進助成金（仮称）の充実

今年度の補正予算案及び来年度の概算要求に盛り込まれている「65歳超雇用推進助成金（仮称）※」について、特に70歳以上までの定年延長や継続雇用制度を導入する企業にとって、十分なインセンティブとなるような助成金とすること。

（※希望者全員を継続雇用することとした場合、一社当たり〔66～69歳：60万円〕〔70歳以上：80万円〕の助成を想定）

【提案②】高齢者雇用開発特別奨励金の助成額の拡充

65歳以上の高齢者離職者の新規雇用促進を目的とした高齢者雇用開発特別奨励金※について、拡充を行うこと。

（※現行は、1人当たり最大70万円支給）